



1. 西側外観
2. パサージュから西側の原宿駅を見る
3. 3階から明治神宮の杜を見る



日建連表彰2023



第64回BCS賞

WITH HARAJUKU

選定理由 【選考委員】
山内弘隆・宮崎 浩大西正修

JR原宿駅前に立地する、店舗・レストラン、多目的ホール、集合住宅からなる再開発複合施設である。計画地は、山手線を挟んで、西側は明治神宮の杜に對峙し、北側は竹下通りに向かって一〇分近い高低差のある不整形な形状となっている。

建物は、地形に沿うように計画され、駅前側のファサードは周辺の街並みに合わせたスケールの大きな木フレームによって構成され、スクエアなボリュームある佇まいで、しっかりと神宮の杜の緑と向かい合っている。他方、竹下通り側に向かっては、高低差に沿って台地のような形状の在来種を主としたステップ状の斜面緑地となっており、ヒューマンスケールな街のボリュームに自然に馴染んでいる。

その中を街路のように貫通する

立体的な半外部の「パサージュ」が、表参道から連続する原宿駅前通りと小さなスケールの竹下通りの側道までを道の建築として結び付けている。

地下二階地上四階まで高低差に沿うように、上下にも分岐している地上階のパサージュ空間は、テラスなど人々の溜まり場が多く点在し、トップライトからも自然光が取り入れられ、明治神宮の杜からの涼風の通り道にもなっている。環境的にもパッシブな心地よいスペースとして高く評価したい。

そして、通常のテナントビルでは考えられないが、パサージュの持つコンセプトは、コアテナントの空間構成にも組み込まれ、店舗内を含めて、人々が街中を散策するように自由に楽しめる都市的な施設となっていることも大きな魅力だと言える。

施工面、技術面においても、レベルの高い工夫や取組みが随所に見えてくるであろう外部での木の使用に対しても、学ぶべき前例になり得ると思う。

施設単体の完成度、魅力もさることながら、建築主、設計者そして施工者のチームが一体となって生み出したこの建築は、公共空間として竹下通りと表参道に囲まれた「奥原宿」の解放を実現し、原宿の街の骨格を変えつつある。建築が街を変え、力を持つことを示す、まさにBCS賞に相応しい作品である。

WITH HARAJUKU 概要

- 所在地 東京都渋谷区神宮前1-14-30
- 建築主 NTT都市開発㈱
- 設計者 (株)竹中工務店、(株)伊東豊雄建築設計事務所
- 施工者 (株)竹中工務店
- 竣工日 2020年3月19日

- 敷地面積 南敷地：4,618㎡ 北敷地：449㎡
- 建築面積 南敷地：3,914㎡ 北敷地：269㎡
- 延床面積 南敷地：25,922㎡ 北敷地：715㎡

- 階数 南敷地：地上10階、地下3階 北敷地：地上2階、地下1階
- 構造 鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造



詳細や他の写真などは
左記の二次元コードから
Webページにアクセスしてご覧ください。

《日建連表彰2023 第64回BCS賞受賞作品》 WITH HARAJUKU / Entō / 大阪梅田ツインタワーズ・サウス、及び周辺公共施設整備 / 大阪大学箕面キャンパス 外国学研究講義棟 / 京都市美術館(京都市京セラ美術館) / シェルター・インクルーシブプレイス コハル / 渋谷 パルコ・ヒューリックビル / 清水建設北陸支店新社屋 / 新宮市文化複合施設(丹鶴ホール) / 那覇文化芸術劇場 なはーと / 日本女子大学目白キャンパス再整備 / Port Plus / 丸紅ビル / ミチノテラス豊洲 / 早稲田大学本庄高等学院体育館

BCS賞

BCS賞は、建築の事業企画・計画・設計、施工、環境とともに、供用開始後1年以上にわたる建築物の運用・維持管理等を含めた総合評価に基づいて選考し、建築主・設計者・施工者の三者を表彰する建築賞です。この賞は、1960年にはじまり2023年で64回を数えました。